

比較家族史学会
会報 比較家族史 65

事務局 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-7 弘文堂気付

学会事務連絡先 大学生協学会支援センター内 比較家族史学会

〒166-8532 東京都杉並区和田 3-30-22 TEL. 03-5307-1175 FAX. 03-5307-1196

E-Mail:hikakukazokushi@univcoop.or.jp 郵便振替 00130-4-25222

2015年 比較家族史学会 第58回研究大会プログラム

【日時】 2015年11月14日(土)

【会場】 高野山大学校舎A棟2階 第三会議室

(和歌山県伊都郡高野町高野山 385)

【参加費・申込み】 無料・事前申込不要

【プログラム】

10:30~10:40 会長挨拶 森 謙二 (茨城キリスト教大学)

10:40~10:50 高野山大学挨拶 藤田光寛 (高野山大学学長)

10:50~11:30 自由報告 司会:小池 誠 (桃山学院大学)

胡 源源 (神戸大学大学院)

「日本に結婚移住した外国人妻と母国のトランスナショナルなつながり」

11:30~12:40 休憩

12:40~16:30 ミニ・シンポジウム「高野山における人口維持システム」

12:40~12:50 森本一彦 (高野山大学) 趣旨説明

12:50~13:20 山口文章 (高野山真言宗山林部長・総長公室長)

「高野山の歴史」

13:20~13:50 芦田裕介 (宮崎大学)

「高野山周辺の空き家からみる人口維持システムの変容」

13:50~14:20 島津良子 (奈良女子大学)

「女人禁制の解除過程—境内地から地域社会へ—」

14:20~14:50 森本一彦 (高野山大学)

「前近代における僧侶の移動—金剛峯寺析負輯を中心として—」

14:50~15:00 休憩

15:00~16:30 討論

16:30~16:40 副会長挨拶

【ミニ・シンポジウム趣旨】

明治5年まで、高野山は女人禁制であり、出生率ゼロの社会であった。高野山で語られてきた石童丸物語は、父を探して高野山に登ってきた子に対して、出家した父であることを告げず、子弟関係を貫くという話である。これは高野山には親子関係が存在せず、子弟関係に一元化されていたことを示している。女性が居住しておらず、家族も存在しなかった高野山には、夫婦関係や親子関係が存在しなかったのである。ケアなど家族が担うと考えられてきたものは、すべて子弟関係によって行われたいと考えられる。このような特殊な状況にあった高野山がどのように維持されてきたのかを考えることを通して、我々が抱えてきた家族イメージを再構築できるのではないかと考える。

山口文章は、本テーマの前提である高野山の歴史について報告をしていただく。さらに、芦田裕介は、増加する空き家を通して、少子高齢化の影響を受けて、消滅自治体と呼ばれる高野山周辺の地域の現状を明らかにするとともに、戦後の人口動態と重ねることによって現在の問題を浮き彫りにしていただく。島津良子は、近代における女人禁制の解除過程について報告いただくことによって、僧侶の修行の場であった境内地が家族を形成する一般住民が住む地域社会へと変貌していく様相を明らかにする。森本一彦は、『金剛峯寺析負輯』を使用して、前近代における高野山の人口移動を通して、女人禁制下の維持システムの実態を報告する。

本シンポジウムでは、高野山の人口変動を現在から遡って検討することによって、単線的な歴史像にとらわれず、地域の人口減少についてさまざまな可能性を考えることを目的としている。

【会場アクセス】

南海高野線高野山駅より南海りんかんバスで千手院橋下車徒歩4分

<http://www.koyasan-u.ac.jp/info/access/>

【宿 泊】

宿泊は斡旋しませんので、高野山宿坊協会や宿坊にお問い合わせください。

<https://shukubo.net/contents/reserve/>

【昼 食】

学生食堂は営業していませんが、大学周辺には飲食店があります。宿坊で昼食を希望される方は高野山宿坊協会や宿坊にお問い合わせください。

【託児サービス】

現在、高野山および周辺にご紹介できるサービスはありません。

【大会運営委員】森本一彦（高野山大学・委員長）・小池 誠（桃山学院大学）・

平井晶子（神戸大学）

【共 催】高野文化圏研究会

【後 援】高野山大学、金剛峯寺、高野町





【理事会議事録】**【開催日時】**

2015年6月19日（金） 18:30～

【会場】

札幌大学6号館（6625会議室）

【出席者】

森・八木・奥山・廣嶋・林・牧田・坂田・床谷・小島・小池・森本・加藤・
平井・堀田（敬称略）

【報告および審議の内容】**① 企画委員会からの報告と審議**

- ・平井委員と森本委員から、今後の大会開催校およびシンポジウムテーマについての説明がなされ、その案が了承された。企画委員会からの案は以下の通り。

2015年秋季大会は高野山大学を会場に「高野山における人口維持システム」と題したシンポジウムを開催

2016年春季大会は近畿大学を会場に「結婚（仮）」と題したシンポジウムを開催

2016年秋季大会は筑波大学を会場に「琉球の家譜および墓における家の記録」と題したシンポジウムを開催

2017年春季大会は早稲田大学を会場に「子どもと教育」と題したシンポジウムを開催

2017年秋季大会は開催校・シンポジウムテーマともに未定

2018年春季大会は会場は未定であるが「人口政策」と題したシンポジウムを開催

- ・平井委員より日本経済評論社からの本の出版計画について質問があり、森会長から説明があった。

② 編集委員会からの報告と審議

- ・堀田委員より報告事項として以下の4点について報告があった。
- ・2015年3月末に『比較家族史研究』29号が刊行されたこと。
- ・『比較家族史研究』30号の特集企画は2014年に愛媛大学で開催された秋季大会の特集を掲載予定であること。
- ・2015年6月20日（土）の昼に30号の編集等について編集委員会を開催予定であること。
- ・『比較家族史研究』執筆者への頒布額および会員への新刊以外の販売価格が1冊500円であること、会員への新刊の販売価格は2割引であること。
- ・堀田委員より審議事項として以下の2点について説明がなされ、審議が行われた。
- ・これまで弘文堂の浦辻氏には雑誌の編集作業を行っていただいていたが、氏の定年退職により代わりの人材を探す必要が出てきた。しかし、弘文堂内部で適当な人材が見つからなかったため、編集委員会としては、当該編集作業を印刷会社（候補は三美印刷）に委託することを提案したい。この提案を理事会で審議した結果、了承された。

- ・今回の会報に『比較家族史研究』30号への投稿募集および書評対象書の募集記事を掲載できなかった。そこで編集委員会としては、これらの募集に関する告知を会員へのメール配信で行うことを提案したい。この提案を理事会で審議した結果、学会支援センターから企画委員会と編集委員会の連名で会員へメール配信してもらい、2015年秋季大会自由報告の募集と雑誌次号への投稿および書評対象書の募集を一緒に周知することになった。

③ 会計決算報告

- ・八木副会長より2014年度の一般会計および特別会計の決算報告がなされ、了承された。

④ 『新修・事典家族』編集進捗状況報告

- ・八木副会長より事典編集の進捗状況および執筆者・会員への無料配布・販売価格について報告があった。
- ・事典のタイトルについて若干の議論がなされ、案があれば7月7日までに八木副会長へ連絡することになった。

⑤ 会員情報報告

- ・八木副会長より会員の会費納入状況や退会者について報告があった。また、新規会員2人について審議され、入会が了承された。

⑥ その他

- ・森会長より以前に早稲田大学出版部から刊行した『シリーズ比較家族』の残部について会員への販売を考えている旨、説明がなされ、了承された。
- ・平井理事より、大会運営中の託児所について話題が出され、学会としては大会開催校付近の託児所を斡旋する形で対応することが決定された。

【事典編集委員会からの報告】

刊行が遅れておりました事典は、ようやく編集作業が完了し、『現代家族ペディア』という書名で11月中旬に弘文堂より刊行されることになりました。これまで編集・執筆にご協力いただきました会員の皆様に心より御礼を申し上げます。なお、会員の皆様には特別価格にてご購入いただけますので、同封のチラシを参照いただき、弘文堂へFAXでお申し込みください。なにとぞ多くの会員にご購入いただけますように、よろしく願いいたします。

(事典編集委員会委員長 八木透)